

公益社団法人日本分析化学会 第14回定時総会開催のお知らせ

公益社団法人日本分析化学会
会長 山本 博之

公益社団法人日本分析化学会定款第17条に基づき、第14回定時総会を下記のとおり開催いたします。本会は代議員制を採用しており、代議員をもって法律上の社員としておりますので、代議員以外の会員の方々には議決権はありませんが、定時総会に出席して意見を述べることができます。今回はWeb会議方式で開催しますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご出席の場合は、e-mailにて、会員氏名、会員番号、連絡先（住所、e-mailアドレス）を明記のうえ、4月4日（金）までに下記問い合わせ先にお送りください。

第14回定時総会

期日 2025年4月25日（金）14時～16時

会場 Web会議（日本分析化学会会議室）

議案

- 2024年度事業報告及び決算報告承認の件
- 2025～2026年度役員承認の件
- 定款の一部変更承認の件
- 名誉会員推薦承認の件
- 永年会員推薦承認の件
- 2025年度事業計画及び収支予算報告の件

問合せ先（公社）日本分析化学会総務課

〔E-mail：shomu@jsac.or.jp〕

第23回生涯分析談話会

主催 生涯分析談話会

協賛 LC研究懇談会

第85回分析化学討論会実行委員会（朝日 剛実行委員長）のご配慮により、標記談話会恒例の講演会を討論会の初日に以下の要領で開催できることとなりました。

日時 2025年5月31日（土）16時～17時

会場 愛媛大学城北キャンパス〔愛媛県松山市文京町3〕（教室名は討論会のプログラム編成後に判明します）

講演

講師 本水昌二先生（岡山大学名誉教授）

題目 化学分析に用いる有機試薬の開発と操作の自動化をめざして

情報交換会 18時30分からANAクラウンプラザホテル松山〔松山市一番町3-2-1〕（第85回分析化学討論会の懇親会に合流して開催するため、参加者数に定員がございます。討論会の実行委員会Webから早目に登録をお願いいたします）。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsac85touron/top>

詳細が分かり次第、LC研究懇談会ホームページ（<https://www.lckon.org/>）に随時掲載しますので、下記宛に奮ってお申し込みください。

生涯分析談話会・会長 中村 洋

参加申込先 幹事：伊藤一明〔E-mail：itok1481@gmail.com〕

2025年度 液体クロマトグラフィー（LC）分析士初級 認証試験実施のお知らせ

標記につき、下記要領で実施する予定ですのでお知らせいたします。各会場へのお問い合わせは、ご遠慮ください。

期日 2025年7月7日（月）14時～16時

会場

- ①東京会場：（株）島津製作所東京支社〔東京都千代田区神田錦町1-3、交通：都営新宿線「小川町」駅、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅、東京メトロ丸の内線「淡路町」駅のB7出口より徒歩6分、東京メトロ銀座線「神田」駅より徒歩10分、JR「神田」駅西口より徒歩10分。〕

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

- ②京都会場：（株）島津製作所本社研修センター〔京都府京都市中京区西ノ京桑原町1、交通：（地下鉄）京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅より国際会館方面に乗り、「烏丸御池」駅にて下車し、京都市営地下鉄東西線「太秦天神川」方面に乗り換え、「西大路御池」駅下車、4番出口より南へ徒歩3分。（市バス）京都駅烏丸中央口北側のバス乗り場より「205系統：西ノ京円町・金閣寺道ゆき」または「26系統：宇多野・山越ゆき」に乗り、「西大路三条」で下車後、三条通りを西へ徒歩3分（北側）京都駅からの所要時間約35分。

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

初級資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「指示をすれば一人で分析できるレベル。当該分析・測定技術に関する基礎的知識および関連する法令に関する知識を有する。」と規定されます。液体クロマトグラフィー分析士においては「クロマトグラフィーやHPLCに関する基礎的知識と原理に対する理解が十分ある」ことが求められます。なお、試験問題としては科学の各分野並びに化学・分析化学一般に関する知識を問う内容が約50%含まれます。

受験料 6,600円（合格者は登録料3,300円を別途申し受けます）。請求書の発行はいたしません。入金確認後、受験番号をお知らせします。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ（<https://forms.gle/dvzkcE4GxbXiP65VA>）にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 6月26日（木）15時。会場に定員制限がありますので、入金順に受験番号を発行します。

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349、口座名義：公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会（シヤ）ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー。一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一、当方の判断で試験が中止された場合には、次回受験料を免除します。

問合せ先（公社）日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証専門部会〔E-mail：lckonkanri@gmail.com〕

2025年度CERIクロマトグラフィー分析賞 受賞候補者の推薦

液体クロマトグラフィー（LC）研究懇談会（以下、LC懇）は、2025年度のCERIクロマトグラフィー分析賞受賞候補者の推薦を受け付けます。LC懇会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程（抜粋）を参照のうえ、推薦資料提出先にお申し出ください。受賞者には、LC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」（通巻第11号、2025年12月15日

発行予定)への業績投稿とともに、第31回 LC & LC/MS テクノプラザ(2026年1月を予定)での受賞講演を行っていただきます。

第1条 本賞は、LCを利用した研究分野で優秀な研究成果を挙げた者を対象に、年1件以内に授与する。

第3条 受賞者の資格に年齢は問わないが、LC懇の会員であることが望ましい。

また、受賞者の研究成果は、既印刷のもので、少なくともその一部が公益社団法人日本分析化学会の機関誌もしくは学術刊行物に掲載されたものであることを要する。

第7条 賞の授与は、LC & LC/MS テクノプラザにおいて行う。受賞者には、賞牌および賞金(10万円)を授与する。

提出資料 推薦者(会員番号明記)は、A4判サイズに横書きで記入した以下の4種類の資料(各1通)を1ファイルにまとめ、2025年8月末日までに下記提出先に電子メールで送付する。①候補者の生年月日および高校卒業以後の履歴書、②推薦理由書、③研究業績名(40字以内)およびその概要、④研究業績リスト:表題、全著者名(受賞候補者にアンダーライン)、雑誌名、巻数、掲載ページ数、掲載年をこの順に記載したもの、⑤その他、適当と思われる資料(1件)を提出してもよい。

推薦資料提出先 CERIクロマトグラフィー分析賞係
[E-mail:nakamura@jsac.or.jp]

2025年液体クロマトグラフィー 科学遺産候補の推薦

LC研究懇談会会員で、LC科学遺産認定候補の推薦を希望される方は、下記の規程(抜粋)およびLC研究懇談会ホームページを参照のうえ、2025年8月末日までに推薦書類を提出先にお送りください。なお、認定が決定されたLC科学遺産については、第31回 LC & LC/MS テクノプラザ(2026年1月を予定)において、当事者から受賞業績の概要を発表していただくと同時に、LC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」(通巻第11号、2025年12月15日発行予定)への投稿を行っていただきます。

第2条 「液体クロマトグラフィー科学遺産」とは、日本における液体クロマトグラフィー(LC)の発展にとって、歴史的な観点から顕著な貢献があったと認められるものを指す。

- 「液体クロマトグラフィー科学遺産」は、年度ごとに1件以内を認定する。
- 装置・器具類においては、その動作原理が日本初もしくはそれに準じたものであること、またはその性能が従来のものより格段に優れていることを要する。
- 技術・方法においては、従来のものより効率、再現性、操作性などが格段に優れていることを要する。
- 無形遺産については、当該分野の維持・発展において顕著な社会的あるいは歴史的貢献と認定されるもの。

推薦書類 A4判サイズに横書きで記入した以下の書類(各1通)を、1ファイルにまとめたもの。①推薦理由書(会員番号明記)、②LC科学遺産候補の名称(40字以内)とその概要、③LC科学遺産所有者名、④その他、適当と思われる資料(1件)を提出してもよい。

提出先 LC科学遺産認定委員会
[E-mail:nakamura@jsac.or.jp]

2026年液体クロマトグラフィー 努力賞候補者推薦について

本賞は、液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会(以下、LC懇)が授与する褒賞で、LCに関する研究・技術が独創的であり、将来を期待される研究者・技術者を授賞の対象としております。適当な候補者がおられましたら、下記要領にてご推薦またはご応募ください。受賞者には第31回 LC & LC/MS テクノプラザ(2026年1月を予定)における受賞講演、ならびにLC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」(通巻第11号、2025年12月15日発行予定)への業績投稿を行っていただきます。不明な点は下記にお問い合わせください。

受賞資格 LC懇の個人会員(会員番号明記)で、2026年4月1日現在で満50歳程度まで。

提出資料 ①推薦書または自薦書(A4判スペース1枚に生年月日、簡単な履歴、受賞の対象となる研究題目)、②推薦または応募理由書(A4判を縦に使用し、1行45字、40行程度で業績説明と主要論文リストを合わせて3枚以内)、③説明資料1件(任意。特に重要な論文の別刷PDF、その他審査の参考となる資料等)を1ファイルにまとめ、下記提出先に電子メールで添付。

推薦・応募締切 2025年8月末日

提出・問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC懇
[E-mail:nakamura@jsac.or.jp]

2025年 POTY 賞受賞候補者の推薦

液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会(以下、LC懇)は、2025年 POTY(Person of The Year)賞受賞候補者の推薦を受け付けます。POTY賞はLC懇の発展に大きく貢献した者に授与しますが(副賞1万円、年度1件以内)、CERIクロマトグラフィー分析賞ならびに液体クロマトグラフィー努力賞の受賞者を授与の対象としません。推薦を希望される方は、下記2点に留意され、資料を電子ファイル(1ファイル)で提出してください。なお、受賞者にはLC懇の電子ジャーナル「LCとLC/MSの知恵」(通巻第11号、2025年12月15日発行予定)への投稿とともに、第31回 LC & LC/MS テクノプラザ(2026年1月を予定)における受賞講演をお願いいたします。

- 受賞者の年齢は問わないが、LC研究懇談会の会員であることが望ましい。
- 推薦者(または自薦者)は、LC研究懇談会の個人会員とする。

提出資料 推薦者等は、A4判サイズに横書きで記入した以下の①~③の資料を、2025年8月末日までに下記提出先に電子メールで送付してください。①履歴書(生年月日、現住所、勤務先と連絡先、高校卒業以後の履歴を含む)、②推薦理由書、③貢献業績名(40字以内)およびその概要。

資料提出先 LC懇 POTY賞係 [E-mail:nakamura@jsac.or.jp]

第406回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー

(LC) 研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会(申請中), (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

HPLCやLC/MSによる分析を成功させるには、試料マトリックス、分析種に応じた前処理、分離モード、カラム、移動相、検出、データ処理・解析などの適切な条件選択が求められます。本例会では、前処理からデータ処理・解析に至るまでの各条件設定の基本から知っておくべきポイント・留意点、奥の手、新手、さらに最新トピックスなどについてご講演していただきます。

期日 2025年4月24日(木) 13.00~17.00

会場 (株)島津製作所東京支社イベントホール〔東京都千代田区神田錦町1-3, 交通: 都営新宿線「小川町」駅, 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅, 東京メトロ丸の内線「淡路町」駅のB7出口より徒歩6分, 東京メトロ銀座線「神田」駅より徒歩10分, JR「神田」駅西口より徒歩10分。〕

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

講演主題

HPLC, LC/MSにおける条件選択の基本、奥の手、新手等

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13.00~13.05)

(株)島津総合サービス 三上博久
(LCマイスター, LC/MS分析士初段)

1. クロマトグラフィーの為の試料前処理の選択方法
(13.05~13.35)
(ジエールサイエンス(株) 太田茂徳(LC分析士二段)
2. 逆相LCの分析法検討と最適化
(13.35~14.05)
(日本ウォーターズ(株) 島崎裕紀
(LC分析士三段, LC/MS分析士二段)
3. HILICカラムの上手な失敗の無い取り扱い方法
(14.05~14.35)
(株)クロマニックテクノロジーズ 長江徳和
(LC分析士二段)
4. 生体高分子分析における分離モードの選択と条件設定のポイント(14.35~15.05)
(東ソー(株) 伊藤誠治
(LC分析士五段, LC/MS分析士二段)

休憩(15.05~15.20)

5. 吸光光度検出における奥の手、新手~ダイナミックレンジ拡張、未分離ピーク対応(15.20~15.45)
(株)島津製作所 寺田英敏(LC分析士二段)
6. HPLCデータ解析の基礎とトピックスの紹介
(15.45~16.15)
(株)日立ハイテクサイエンス 清水克敏
(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)
7. LC/MS分析条件設定の留意点と新イオン分離OAD活用方法(16.15~16.40)
(株)島津製作所 八巻 聡
(LC/MS分析士四段)
8. 総括「HPLC, LC/MSにおける条件選択の基本、奥の手、新手等」(16.40~17.10)
(東京理科大学) 中村 洋
(LCマイスター, LC/MSマイスター)

参加費 ①学生:1,000円, ②LC懇・個人会員:2,000円, ③LC懇・団体会員:3,000円, ④後援学会・個人会員:4,000円, ⑤後援学会・団体会員:4,500円, ⑥その他:5,000円。参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(会費5,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので、ご了承ください。

申込締切日 2025年4月17日(木) 入金締切時刻:15時まで

申込方法

1. 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC研究懇談会・個人会員、協賛学会・個人会員、その他の別および情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
2. お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス欄に「第406液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付(自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、①入力したご自分のアドレスに間違いがないか、②迷惑メールフォルダーをご確認のうえ、世話人までお問い合わせください。
3. 申込み受付のメールを受領後、必ず期限内に研究懇談会参加費、情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合、お申込みを無効とし参加URLを発行しませんので、十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお、いったん納入された参加費は、返金いたしません。
4. 参加費の納入が確認できた方には、2025年4月18日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。また、請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会(例会)参加費送金時のご注意

例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 複数例会の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
2. 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
3. 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/KWR9PT3gNDD5rs8i7>

(学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店(普通)1754341, 口座名義:シヤ)ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合先 (公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 (株)島津総合サービス 三上博久
[E-mail:mikami.hirohisa.9rk@sgs.shimadzu.co.jp]

第62回化学関連支部合同九州大会
参加および研究発表募集

主催・共催 日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部
会期 2025年7月5日(土)9時~17時(予定)
会場 北九州国際会議場〔福岡県北九州市小倉北区浅野3-9-30, 交通:JR「小倉」駅より徒歩5分〕
大会ホームページ

<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>

発表申込期間 3月1日(土)~4月11日(金)

予稿原稿締切 5月9日(金)

発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ。ほか依頼講演(8件、各支部推薦)

依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦

「マイクロ・ナノ流体デバイスによる分析場のサイズ極限の探求」(早稲田大学) 馬渡和真

発表申込方法 大会HPから、指示に従って、以下の申込必要事項をお送りください。お申込み後に、受理通知のメールをお送りします。通知がない場合は、本合同大会事務局(日本

分析化学会九州支部) (godof62sec@gmail.com) にお問い合わせください。

申込必要事項: 1) 発表分野, 2) 発表題目, 3) 発表者所属機関の略称, 4) 発表者氏名 (登壇者の前に✓印), 5) 学生の場合は, 研究室名, 指導教員の氏名と E-mail アドレスも記入, 6) 発表者の所属学協会 (申込中を含む, 複数可), 7) 発表者の学年・職

予稿原稿 (約 800 字図表を含む) の執筆要項およびプログラムは, 大会 HP で公開します。執筆要項に従って作成し, PDF ファイルに変換したものを大会 HP に記載の方法で投稿してください。

参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料。発表登録費は, ポスター発表 1 件につき 3,000 円 (予稿集 1 冊含む。大会 HP でクレジットにて, お支払いください)。聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求めください (1 冊: 1,500 円)。

授賞式 各支部によるポスター賞審査終了後, 各支部毎に開催します。なお, 懇親会の開催予定はありません。

問合先 〒819-0395 福岡市西区元岡 744 第 62 回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局 (実行委員長: 井倉則之 (九州大学), 代表世話人: 椿俊太郎 (九州大学))
[E-mail: godof62sec@gmail.com, 電話: 092-802-4805]

—以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第 22 回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム

主催 ホスト・ゲスト・超分子化学研究会

期日 2025 年 6 月 7 日 (土)・8 日 (日)

会場 東京大学駒場第 1 キャンパス

ホームページ

<https://park.itc.u-tokyo.ac.jp/terao/SHGSC22/index.html>

連絡先 〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 16 号館 703

東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻 寺尾研究室

増井洋一 [電話: 03-5454-6766, E-mail: cmasui@mail.

ecc.u-tokyo.ac.jp]

第 62 回アイソトープ・放射線研究発表会

主催 (公社)日本アイソトープ協会

期日 2025 年 7 月 2 日 (水)~4 日 (金)

会場 日本科学未来館 7 階未来館ホールほか

ホームページ

<https://pub.conf.itatlas.jp/ja/event/jrias2025>

連絡先 (公社)日本アイソトープ協会

[E-mail: happyoukai@jrias.or.jp]

初めて書く論文は母語の日本語で! “第 24 回初執筆論文特集” 募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は, 2025 年 (第 74 巻) に企画しております第 24 回「若手研究者の初論文特集」の特集名称を変更し, 第 24 回「初執筆論文特集」として原稿を募集いたします。卒研究生, 修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって, ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。年間を通して論文原稿を受け付け, 審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので, 奮ってご投稿ください。

なお, 詳細は「分析化学」誌 HP をご参照ください。

「分析化学」年間特集“環”論文募集

「分析化学」編集委員会

2025 年は「環」をテーマとすることと致しました。

本特集では「環」をキーワードとして, 基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん, 総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し, 分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外, 産学官を問わず, 「環」にかかわる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので, 是非この機会をご活用ください。なお, 詳細は「分析化学」誌の 12 号及びホームページをご参照ください。

特集論文原稿締切: 2025 年 4 月 25 日 (金) (第 3 期)